

# Harmony

創和会 重井医学研究所附属病院 広報誌

184

2020 冬号

開院40周年  
地域医療構想

院長 眞鍋 康二



敬意を持って協力し合う  
チーム医療を实践します

開院40周年を迎えて  
私たちの理念を追求します

1979年11月に開院した当院は、今年開院40周年を迎えました。透析医療を中心とする腎臓専門病院として開設された当時から40年を経て、さまざまな領域で地域医療に貢献する病院へと成長してきました。

私たち病院職員が、向上した知識・技術を生かして地域でその使命を果たすためには、職員同士、また患者さんご家族、その他かかわるすべての人と共に敬意をもって協力し合うことが必須と考えています。チームのメンバーが自分の能力と価値を信じて、仲間を信頼し、課題を皆が協力的に克服していくチームづくりです。

当院の理念である「生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に」のもとに、地域において、今後も頑張っ

地域医療構想の中で  
私たちの使命を果たします

2019年9月26日厚生労働省が、再編統合の議論が必要と考える424の公立・公的病院の名前を公表したことから、地域医療構想が岡山県でも話題になりました。私たちの病院もこの構想の中でどんな医療を行うかを、40年間の年月を経て創られたビジョンとして、地域社会に明らかにする責務があります。それは地域の基幹型病院、他の医療機関など共に地域完結型医療を実現して、地域住民の信頼に応えるということです。

ひとつは地域密着型病院として、一般的疾患（感染症、運動器疾患、急性期以降の脳・心臓血管病など）を対象に、近隣を診療圏とする地域医療です。

もう一つは専門性を発揮する領域で（腎臓病・糖尿病・透析、消化器病、小児療育など）、比較的広い診療圏に対応する医療です。

地域密着型病院としての地域貢献

当院は、近隣の診療圏（岡山市南区、岡山市北区の西部、早島町、倉敷市の東部）に在住している住民の皆さんが、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、岡山市と倉敷市の基幹型病院や他の地域密着型病院、診療所や福祉施設と共に医療連携を行い地域に根差した医療機関を目指しています。

当院外来を受診された肺炎、腎盂腎炎などの感染症、健診で指摘された疾患の外来受診後の検査入院（4ページ）、地域の診療所や福祉施設からの紹介の緊急入院に対応しています。また、基幹型病院からの急性期治療後のリハビリテーション入院などを受け入れ、地域完結型医療の実現に向けて当院の使命を果たしています。

広い診療圏に対応する専門医療

透析医療では岡山県下で最大数の透析患者さんの診療にあたり、在宅透析、オーバーナイト透析などの特殊な透析から、入院が必要な透析患者さんに対応しています。透析シャント手術は多くの透析施設からご紹介を受けています。また、慢性腎臓病専門外来（6ページ）を行っています。

食道癌、大腸癌などの消化器病診療では消化器内視鏡検査による早期発見に努め（5ページ）、必要に応じて基幹型病院に手術目的で紹介しています。また、基幹型病院から消化器癌の術前術後のリハビリテーション・栄養療法や抗がん剤治療目的などの紹介を受けています。





健診を受けて  
「要精密検査」があれば  
病院を受診しましょう

「要検査」など指摘されたら受診を

健診を受けた後の結果をもらっても、各項目になじみがなく、数字が並んでいるだけでよくわからないとおっしゃる方もいらっしゃいます。

「要注意」「要検査」を指摘されても、特に体の調子が悪くなければ忙しさに紛れて受診を忘れてしまうケースもあります。

また結果を知るのが怖くて受診できないケース、自分は大丈夫という思い込み、様々な要因で「要経過観察」「要注意」「要精密検査」の結果が出ていても受診しないケースがあります。

受診して専門医に調べてもらったら問題のないケースもあります。

健康診断の結果をきちんと理解して適切に対処することは、将来的に負担が大きい治療を受けずに済み、深刻な合併症などが突然起こって生活に支障が出るといったことを防げます。

結果に「要経過観察」「要注意」「要検査」があれば受診しましょう！

健診やがん検診を受ける目的は

「何の症状もないのに健診なんか受ける気がしない」

「病気が見つかったら怖い」

「時間とお金ももったいない」

健康診断やがん検診を受けるか迷う、または受ける気がないという方から多く聞く意見です。時間や手間、お金を使って受けるのは大変ですよね。

健康診断やがん検診を受ける目的、それは「治る段階で疾患をみつけて治したい」これに尽きます。

健診やがん検診を受けてほしい理由、それは「症状が無い内ならば根治が望める可能性が高い」、だからその間に見つけたい、それならば治るから、治せるからです。

健康診断で「異常」「要精密検査」と指摘されたら

検査で「便潜血陽性」となったらどうしたらいい？

「便潜血陽性」とは「便に血が混じっている」ということです。その原因として、最も怖いのはやはり大腸がんです。

大腸がんは、がんによる死因のトップ3に入る病気ですが、早期発見が出来れば、ほぼ100% 治癒が期待できるがんです。しかし、かなり進行するまで自覚症状はなく、無症状の時期に早期発見することが重要です。そのためには、便潜血陽性の方には、大腸がんを早期発見するために、大腸カメラを受けて頂くことを強くお勧めしています。

また、もう一つの大腸カメラを受けて頂くメリットとして、大腸カメラをすると、大腸がんになる可能性のあるポリープ（腺腫）の有無がわかりますので、大腸がんになる前に、「大腸がんの芽」のうちに切除することができます（痛くも痒くありません）。そうすることで、大腸がんの罹患率も死亡率も低下させることができることが報告されています。つまり、大腸がんのリスクを摘み取ることで、大腸がんになる前に、対処することができるわけです。

このようにして、大腸がんを早期発見すること、さらに大腸がんの芽を摘み取っておくことで、大腸がんを命を脅かされることなく、長生きすることができるわけです。

ご家族に大腸がんの方がいる場合や、以前にポリープを切除した事のある方の場合は、大腸がんのリスクがありますので、特に大腸カメラを行うことを強くお勧めしています。



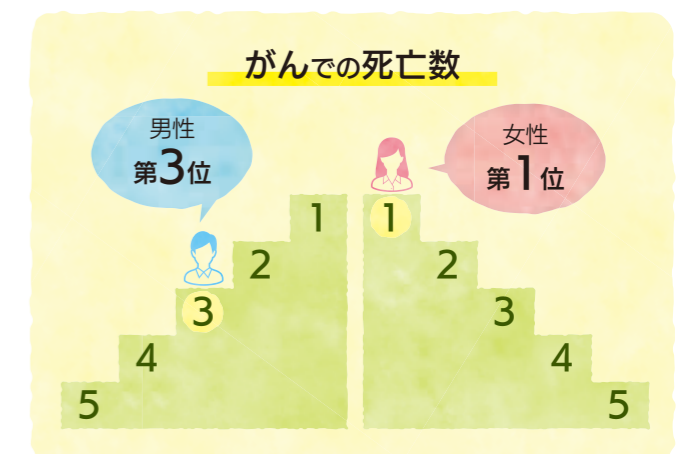
内視鏡センター長  
山本 直樹 医師

専門医一覧  
日本内科学会認定 認定内科医・指導医  
日本消化器病学会認定 消化器病専門医  
日本消化器内視鏡学会認定 消化器内視鏡専門医・指導医

大腸がんの罹患率と死亡数



男性はおよそ11人にひとり、女性はおよそ14人にひとりが、一生のうちに大腸がんを診断されています。



大腸がんは女性のがんによる死亡数の第一位です。男性では26,818人、女性は22,881人の方が大腸がんで亡くなっています。(2015年)

出典：人口動態統計2015年（厚生労働省大臣官房統計情報部編）

## 腎臓の検査の異常で要精密検査どうしたらいい?

●腎臓の検査（検尿・クレアチニン・eGFR）で異常を指摘されたら  
「要経過観察」、「要精密検査」と言われた時は「慢性腎臓病」である可能性があります。

### ●慢性腎臓病（CKD）とは?

日本人にとって重要な慢性疾患のひとつとなっています。初期は自覚症状がほとんどありません、それが怖いところで、患者を増加させている原因です。

腎臓はたんぱく質が体内で代謝・分解されて産生される老廃物や余分な水分、食塩などを尿へ排出しています。食塩やたんぱく質を摂りすぎて、腎臓に余分な負担をかけると腎臓病の進行が早まる恐れがあるといわれています。腎臓は自然になおることはありません。

軽症であっても、心筋梗塞や脳卒中などの命に関わる病気を招くことが分かってきました。腎臓そのものだけでなく、心臓や脳を守るためにも、定期的に検査をし、慢性腎臓病の治療を早く始めることが大切です。

健診の結果だけでは、はっきりとした病名を診断することができません。

### ●医療機関を受診しましょう

健診で異常を指摘されたら、腎臓専門医を受診して原因を知ることが大切です。腎臓病の治療や食事・運動療法については専門医、腎専門のスタッフの話を聞きましょう。

当院では、糖尿病専門医、腎臓病専門医、循環器専門医が慢性腎臓病に対応いたします。



院長 真鍋 康二 医師

専門医一覧  
日本内科学会認定 総合内科専門医・指導医  
日本糖尿病学会認定 糖尿病専門医・指導医  
日本腎臓学会認定 腎臓専門医・指導医  
日本透析医学会認定 透析専門医・指導医  
日本肝臓病学会認定 肝臓専門医・指導医

## 午後外来の受付時間変更のご案内

医師をはじめ病院職員の長時間労働が全国的な社会問題となっています。

当院におきましても、持続的かつ良質な医療体制を確保するため、職員の働き方改革に取り組んでおります。

つきましては、外来の午後の受付時間を2020年1月4日(土)より下記の時間に変更させていただきます。なお午前の受付時間の変更はございません。

変更前の受付時間	変更後の受付時間
(2019年12月28日土曜日まで) 13:30~17:00	(2020年1月4日土曜日から) 13:30~16:30

急病の場合は、この限りではありません。あらかじめ電話で対応可否のお問い合わせをお願いいたします。

## おかやまマラソンに当院の職員が参加しました!

11月10日の「第5回おかやまマラソン」に真鍋院長(ドクターランナー)はじめ9名の職員が参加しました。そのうち3名がフルマラソン初挑戦で、本人たちは途中で何度も棄権を考えたそうですが、温かい声援もありなんとか完走できました。また、地域医療研修で

岡山市立市民病院から研修にこられていた河野智仁医師も完走できました。

なお、当院から出場した山本真裕臨床工学技士は自己ベストを更新し、2時間42分34秒(総合49/13492位)でゴールしました。



研修医の河野医師



激走する山本臨床工学技士

## 火災シーズンに備えて

火事が多発する季節を迎えています。

当院では、火災シーズンに備えて毎年秋に夜間想定避難訓練を行っています。今年は、11月12日に入院棟1階の病室から出火したという想定で、訓練を実施しました。

今回訓練に参加した職員たちは、真剣な面持ちで火災発生時の対応マニュアルに沿って、手際よく模擬患者を安全な場所まで避難させることができました。

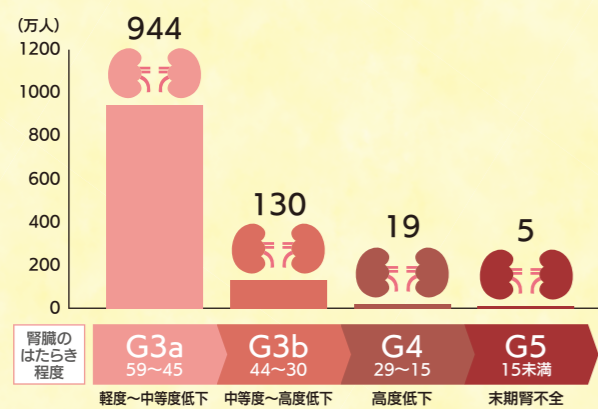


10月2日には岡山市消防教育訓練センターで開催された第38回消火技術訓練大会の消火器女子の部に、当院の若手看護師チームが出場しました。日頃の訓練の成果を発揮して、敢闘賞を受賞いたしました。

万が一の場合にも最善の対応を目指します。



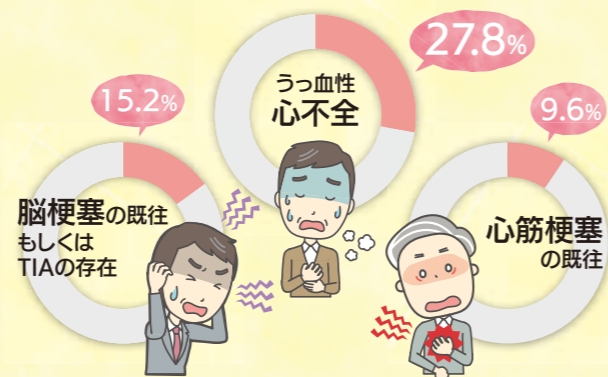
## 日本人(成人)の腎機能の程度別CKD患者数



末期腎不全になると腎移植か透析が必要になりますが、全てのCKD患者さんが末期腎不全に至るわけではありません。CKDは、早期に発見して、早期に治療を行うことで、悪化制御の可能性が高くなります。

出典：平成23年度 厚生労働省 CKDの早期発見・予防・治療標準化・進展阻止に関する研究調査 より作成

## 透析導入時に合併症がある患者さんの割合



CKD患者さんは、腎機能の低下だけでなく、心臓や血管に関わる合併症(心血管疾患)にも気を付けなければなりません。欧米においては、透析導入されるCKD患者さんよりも、心血管疾患によって亡くなるCKD患者さんの方が多いといわれています。日本人でも、CKDステージG3bより進んだCKD患者さんは、心血管疾患によって亡くなるリスクが増加します。

出展：日本透析医学会 統計調査委員会 統計解析小委員会 わが国の慢性透析療法の現状(2007年12月31日現在) 透析会誌2009;42(1):39 表53より作成

# 外来診察 予定表

Outpatient care schedule

**受付時間** 8:30~12:00 (再診の方は、再来受付機にて午前8時より受け付けています)  
13:30~16:30

**休診日** 木曜・日曜・祝日  
(急病の場合は、あらかじめ電話で対応可能かどうかのお問い合わせをお願いいたします)

		月	火	水	木	金	土
内科	午前	糖尿病・肝臓 (生活習慣病)	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎) 大森 一慶 (総・糖)	大森 一慶 (総・糖・腎)	荒木 俊江 (総・糖) 池田 弘 (肝)	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎) 十川 圭司 (総・糖)	真鍋 康二 (総・肝・糖・腎) 荒木 俊江 (総・糖)
		腎臓	福島 正樹 (腎) (紹介・初診のみ)	—	福島 正樹 (腎)	休診	福島 正樹 (腎)
	消化器	藤本さおり (総・消)	西山 仁樹 (消)	山本 直樹 (総・消)	休診	岡 優子 (総・消)	岡 優子 (総・消) 山本 直樹 (総・消)
	循環器	—	近藤 直樹 (循)	—	休診	—	—
	★総:総合内科 腎:腎臓 肝:肝臓 糖:糖尿病 消:消化器 循:循環器 ★健診は、西山仁樹(月・火・水・金・土)が担当しています						
午後	一般外来	交代医師	交代医師	交代医師	休診	交代医師	交代医師
	専門外来 (予約)	(肝臓・ 生活習慣病) 池田 弘	(糖尿病・腎臓病) 真鍋 康二 荒木 俊江	—	休診	—	—
名誉院長外来	午前	—	腎臓・内科一般 瀧 正史	—	休診	—	—
小児科	午前	瀧 正史	虫明 亨祐	虫明 亨祐	休診	虫明 亨祐	瀧 正史
		虫明 亨祐	今村 昌司	今村 昌司		今村 昌司	虫明 亨祐
午後	交代診療 予防接種	交代診療 予防接種	交代診療 予防接種	交代診療 予防接種		交代診療 予防接種	
小児療育	午前 完全予約制	今村 昌司	川田 珠理	川田 珠理		今村 昌司	今村 昌司
	午後 完全予約制	今村 昌司	川田/井上	川田/赤池		今村/川田	今村 昌司
★小児療育は初診の方は完全予約制(火曜・水曜午前中)です。予め電話での予約をお願いします。 他の曜日に来院されてもお帰りいただく場合がございます。ご了承下さいませようお願いいたします。							
外科	午前	櫻間 教文	平松 聡	平松 聡	休診	平松 聡	平松 聡
ダイアライ シスアクセス 専門外来	午前	櫻間 教文	櫻間 教文	櫻間 教文		櫻間 教文	櫻間 教文
★ダイアライシスアクセス専門外来は、完全予約制です。予め電話での予約をお願いします。 ★時間外でも可能な限り対応いたします。電話でお問い合わせ下さい。							
泌尿器科 (予約)	午後	—	—	—	休診	岡山大学 13:30~16:00	—
皮膚科	午後	—	太田 知子	太田 知子	休診	—	—
眼科	午後	岡山大学 第4月曜日13:30~16:00	—	—	休診	—	—

**理念** 生きることの尊さと健康であることの幸せを、すべての人と共に

**基本方針**

1. 生命の尊厳と人権を尊重した良質な医療を通じて、地域の信頼に応えます
2. 知識・技術を向上して敬意を持って協力し合い、チーム医療を実践します
3. 地域社会への持続的な貢献を目指し、健全経営に取り組みます

## Information



### 重井医学研究所附属病院

〒701-0202 岡山市南区山田2117  
TEL 086-282-5311 / FAX 086-282-5345  
<http://www.shigei.or.jp/smrh/>



関連施設  
 しいげい病院  
 重井医学研究所附属病院  
 重井医学研究所  
 岡山しいげい訪問看護ステーション  
 岡山しいげい居宅介護支援事業所  
 倉敷しいげい訪問看護ステーション  
 倉敷しいげい居宅介護支援事業所  
 倉敷しいげい訪問看護ステーション  
 倉敷しいげい居宅介護支援事業所  
 健康増進施設 はあもにい倉敷